

●本時の目標●

絶対値の意味を理解して、正負の数の代償を不等号を使って表すことができるようになろう。

□ 数直線上で、+5、-5、-2.3に対応する点と原点との距離は、それぞれどれだけでしょうか？

+5・・・5 -5・・・5 -2.3・・・2.3

●絶対値●

数直線上で、ある数に対応する点と原点との距離を「**絶対値**」という。

(例) +3の絶対値・・・3 -3の絶対値・・・3

たしかめ4 次の数の絶対値をいいなさい。

(1) +8 (2) -10 (3) +2.5 (4) $-\frac{1}{3}$
8 10 2.5 $\frac{1}{3}$

●負の数の大小関係と絶対値●

負の数は絶対値が大きいほど小さい。

問4 次の各組の数の大小を不等号を使って表しなさい。

(1) -36、-49 (2) -0.8、-0.12 (3) -1、 $-\frac{7}{6}$
-49 < -36 -0.8 < -0.12 $-\frac{7}{6} < -1$
(-36 > -49) (-0.12 > -0.8) (-1 > $-\frac{7}{6}$)

応用問題1 次の問に答えなさい。

(1) 絶対値が2より小さい整数をすべて求めなさい。

-1、0、+1

(2) 絶対値が2以下の整数の個数を求めなさい。

-2、-1、0、+1、+2

(3) 絶対値が3以上5以下の整数をすべて求めなさい。

-5、-4、-3、+3、+4、+5